

地域の個性を活かす流域ガバナンスの実現に向けて

琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会での議論

琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会

設置期間 平成 26 年 7 月 ～ 平成 28 年 6 月 2 年間

諮問事項 1) 琵琶湖・淀川流域における課題整理
2) 流域対策のあり方、統合的流域管理の実現の可能性

研究会委員 石田 裕子 摂南大学 理工学部都市環境工学科 准教授
角 哲也 京都大学防災研究所社会防災研究部門 教授
多々納 裕一 京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授
津野 洋 大阪産業大学人間環境学部 生活環境学科 教授
中川 一 京都大学防災研究所流域災害研究センター 教授
座長 中川 博次 京都大学名誉教授
副座長 中村 正久 滋賀大学 環境総合研究センター 教授

研究会顧問 嘉田 由紀子 びわこ成蹊スポーツ大学 学長, 前滋賀県知事



検討経過

平成 26 年 8 月 14 日 趣旨説明、研究会の進め方
9 月 29 日 流域の変遷・取組概要、平成 25 年台風 18 号洪水の概要
10 月 27 日 構成府県市の取組（治水・防災を中心に）
平成 27 年 1 月 19 日 主として、治水・防災に関する課題
4 月 20 日 主として、利水・水質に関する課題
7 年 27 日 主として、自然環境・流域文化に関する課題
8 月 31 日 相互関係、生態系サービスの評価（ゲストスピーカー 兵庫県立大学 三橋弘宗 講師）
10 月 01 日 全体課題、流域ガバナンス（ゲストスピーカー 同志社大学 新川達郎 教授）
平成 28 年 1 月 29 日 総合的な視点での課題解決 - 統合的流域管理の可能性
拡大研究会 - 流域のこれからをみんなで考えるシンポジウム

琵琶湖・淀川流域の抱える課題および解決の方向性（たたき台）

- 第 9 回研究会 資料から

課題 琵琶湖・淀川流域において取り組むべき課題

河川整備の着実な実施と総合治水・流域治水の推進

水系一貫の計画的な河川整備 地域特性に応じた流域対応 etc.

利水システムの多重化

代替水源の確保 ネットワークの多重化 雨水・井戸水利用 etc.

地下水の保全

地表水との一体的保全 法的枠組みの構築 etc.

水インフラの老朽化対策

コスト縮減 選択と集中 上下水一体管理・広域化・民営化 etc.

流域生態系サービスの総合的な維持・向上

流域自給圏 農林水産業の活性化 グリーンインフラ 自然再生 etc.

総合土砂管理の推進

土砂法の区域指定 流木を考慮した河道計画 土砂の動的平衡 etc.

水の危機管理の強化

新技術・情報の活用 連携強化 施設運用の改善 流域圏外との水融通 etc.

流域文化の個性と繋がりの再生

地域の個性と役割の再認識 地域資源を活かした経済活動の自立 etc.

（裏面につづく）

地域の個性を活かす流域ガバナンスの実現に向けて

琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会での議論

琵琶湖・淀川流域の抱える課題および解決の方向性（たたき台）

－ 第9回研究会 資料から

方向性 地域の個性を活かす流域ガバナンスの実現に向けて － 統合的流域管理の実現の可能性

統合的な流域管理の必要性

- … 課題解決には、行政界を越えた流域単位の視点、行政分野を横断した複眼的な視点が必要
- … 流域に暮らす人々の共通認識・相互理解、主体的参画が統合的な流域管理の原動力

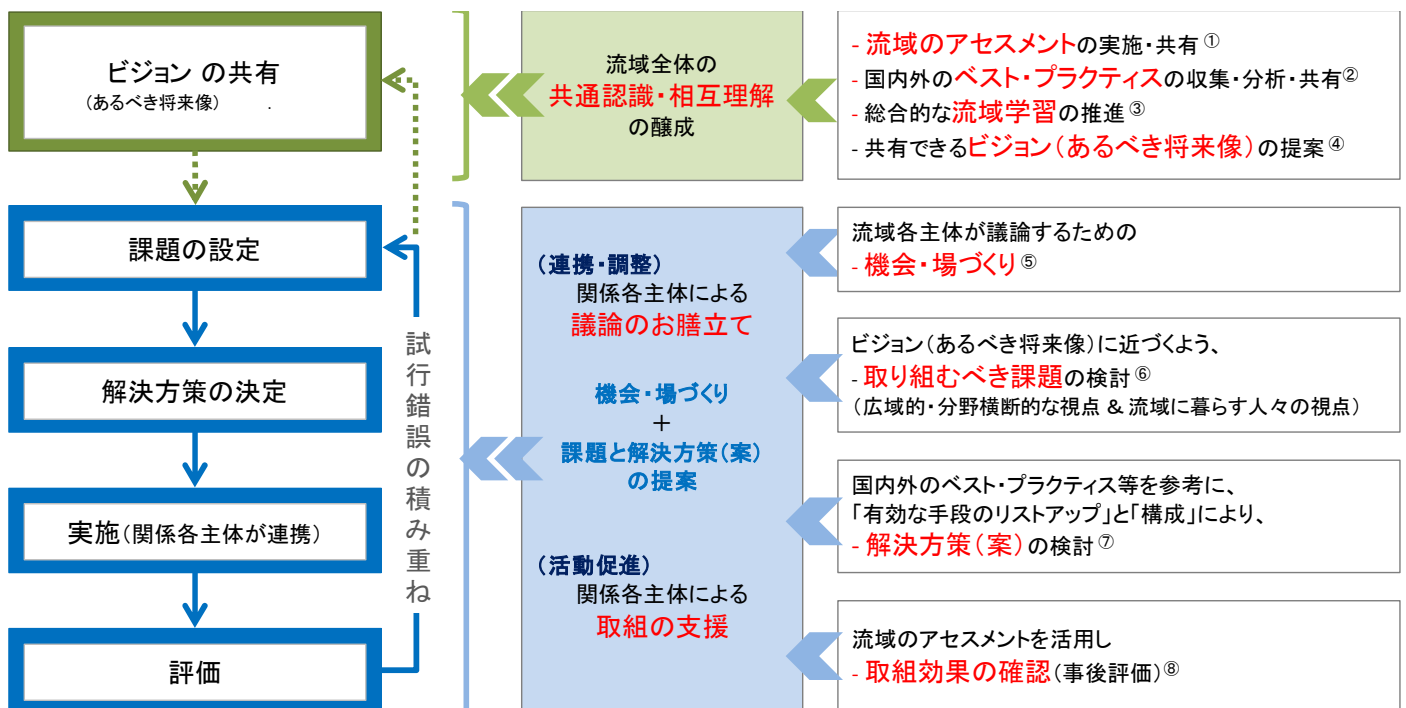
流域管理の目標

- … 流域圏をひとつの単位として、生態系サービスの総合的な維持・向上を図りながら、水に起因するさまざまなリスクを軽減するとともに、持続可能な水利用を実現することによって、将来にわたって圏内住民ひとりひとりが享受する福利を最大化

望ましい流域管理のあり方 － 重層的ガバナンス

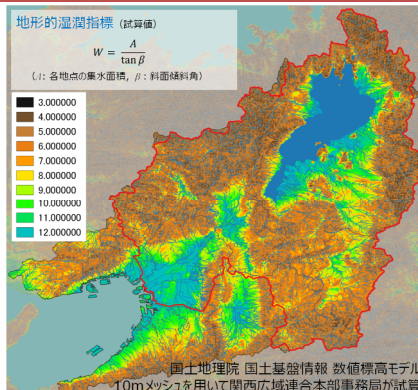
- … 流域住民、NPO、事業者、市町村・府県・国の各部局といった流域各主体の連携・協調を基本
- … さまざまな課題に対して臨機応変に関係各主体が集まり議論し、試行錯誤を経て意思決定できる重層的ガバナンス

流域管理のプロセス



①流域のアセスメント － だれでも使える共通のものさし

- …公開データとシミュレーション技術を活用し、流域のさまざまな状態（各種リスクや生態系サービス）について、流域全体を地先レベルで定量評価。
- …自治会・学区・市町村・府県・流域圏など任意の範囲で集計でき、さまざまな立場から比較衡量、取組効果の確認も可能。
- …流域各主体、特に流域で暮らす人々の共通認識・相互理解の醸成のためのひとつのツール。
- …課題の因果関係や便益の帰着構造の分析にも。



②ベスト・プラクティス － 課題解決のヒント

- …国内外から参考となる広域的・分野横断的な先進事例を収集。
- …成功要因と適用可能性を分析、流域各主体が使いやすい状態にして共有。

③流域学習 － 流域ガバナンスの担い手育て

- …さまざまな世代、主体に属する人々が、幅広い視点から流域を学ぶツール、機会を提供。
- …流域で暮らす人々、事業者、研究機関、行政各部局が双方向で学びあうことが重要。